

御前崎港久々生海岸 里海プロジェクト

作成：NPO法人Earth Communication

2024年度の取り組み

【 環境学習 】



- 『海の森』をテーマにした海辺の環境学習活動を2024年4・6・7・9・11月、2025年2月に各1回 合計6回、延べ132名が参加
- シーカヤックを活用し、海上からの『海の森』の観察会を新たに実施
- 市内小学校の授業としても学びの場に

⇒ 海辺の環境やアマモ場の大切さについて、多くの方に知っていただく機会をつくることができました。



2024年度の取り組み

【 保全活動 】



- 2023年10月～2024年9月の間、全40回、44時間、延べ409名の方にご協力いただき実施
- 上記期間に約10,500ℓ、約1,080kg以上の漂着ゴミを回収
- 企業の皆さま、行政機関の皆さまと協働による取り組みも増えている

⇒ 多くの方にご理解・ご協力いただくことができ、
久々生海岸およびアマモ場が保全されている。



2024年度の取り組み

【 調査・研究 】



- 東海大学 仁木研究室：
アマモ場の形成に関する調査・研究
- 静岡県内外の研究機関：
二次的海岸環境形成に関する調査
- 当法人：県内研究機関の方にご協力いただき、
アマモ場の海岸土壌成分の分析調査

⇒ アマモ・コアマモの群生域が拡大している今だからこそ取り組むことができる調査・研究を実施。



今後の取り組み

現在取り組んでいる活動は、今後も継続的に実施

～ 環境学習 ～

引き続き、静岡県を代表する

『海辺の環境学習フィールド』を目指し活動拡大

～ 保全活動 ～

生物多様性増進活動促進法に基づく

『自然共生サイト』への申請および認証取得

～ 調査・研究 ～

アマモ場が拡大するための条件を探り、減退期に備える。また、他地域への範例となることを目指す

